

平成 23 年 3 月 18 日

宮城県の放射線管理士各位

震災による被害は甚大でしたが、皆様に大きな被害が無かったことを祈っています。大きな地震や津波の被害に加え、福島原発事故は想像もできなかったほどの規模で汚染が広がり、住民の不安も高まっています。被ばくの不安に対応するため、宮城県の管理士の皆さんと取り組んできましたが、私たち自身が被災者であり、ライフラインの途絶や傷病者への対応に追われ、さらに通信網やメールが遮断したため皆様との連絡が取れず、思うように活動できない状況です。

原発のトラブル発生後に、文部科学省からサーベイへの技師派遣の打診がありましたが、災害の渦中にある中での福島への派遣は難しいと判断しました。派遣要請は日本放射線技師会にも寄せられ、3/16に神奈川県放射線管理士部会が中心となり現地に派遣されました。

その後、宮城県ともお話ししましたが、福島への派遣は難しいが、技師会は被ばくへの不安に対応する形で貢献する準備をしてきたとお伝えしました。宮城県への被ばくや汚染相談は宮城県の原子力安全対策室が受けることになっていますが、今は東北大学から派遣された保健学科の教員3名が対応しています。皆様との連絡が取れない中で、技師会からは対がん協会放射線技師が金曜日から参加することになりました。私も、土曜日の漏洩線量測定後に県庁に入り、週末は相談の電話に対応する予定です。栗原中央病院からは電話相談で協力頂けることになりました。仙台市立病院等からも前向きな協力を頂いています。

今は、福島原発からの汚染拡大に伴う相当数の避難者への対応が求められます。現在、仙台医療センターや東北大学が大変な思いをして対応されていますが、地震の被災者への対応もあり、全てを引き受けることは大変なことと思います。震災から一週間経ちましたが、食料・燃料・物資の不足は深刻さを増しています。このような状況の中で皆様をお願いするのは心苦しいのですが、応援して頂ける方を募集します。半日だけでも協力可能でしたらお知らせください。募集内容は以下の内容です。 (法人部 村井)

- ①住民からの電話相談（特に県南，県北）に対応して頂ける方を募集します。
- ②サーベイヤ（派遣先未定）として参加可能な方を募集します。
- ③サーベイ装置の貸し出し可能な施設を募集します。

問い合わせ先 TEL 022-268-3150 仙台通信病院放射線室 村井

E-mail h.murai@sage.ocn.ne.jp

追加情報

被ばくへの偏見は根強くあります。それが原因で、今回の原発事故に伴う福島県からの移動者に対する診療拒否などは避けなくてはなりません。移動制限のない人たちですから、汚染を過度に考える必要はないと考えます。偏見に対する説明は困難とは思いますが、できるだけ説明をお願いいたします。